

以下の観点で、必要に応じて「支援シート」を選んで活用することもできます。

<支援者目線>

**基本・支援者**  
ツール  
子ども理解シート  
簡易版

地域で共に学び、共に生きるために  
**なりたい自分を目指して Well being**  
その時点でその子どもに最も必要な教育を提供する

<p><b>多様な可能性</b></p> <p style="text-align: center;">+</p> <p>様々な得意分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きなこと</li> <li>得意なこと</li> <li>興味関心</li> <li>すでにできること</li> </ul> <p>一手立てのヒント</p>	<p><b>多様な教育的ニーズ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①障害の状態等の把握 苦手な分野 障害特性・アセスメント結果等</li> <li>②特別な指導内容（自立活動） 「こんな学習・練習をすれば力を発揮できる。」</li> <li>③本人・保護者と合意形成を図った合理的配慮 「こんな支援があれば力を発揮できる。」</li> </ol> <p style="font-size: small;">基礎的環境整備</p>
---	--

**氷山モデル**

特性や行動の背景・要因を考える  
水面下にある困難で理解が必要  
子ども本人が、保護者のニーズに、気づきや理解がある

共有したい子どもの実態の捉え方

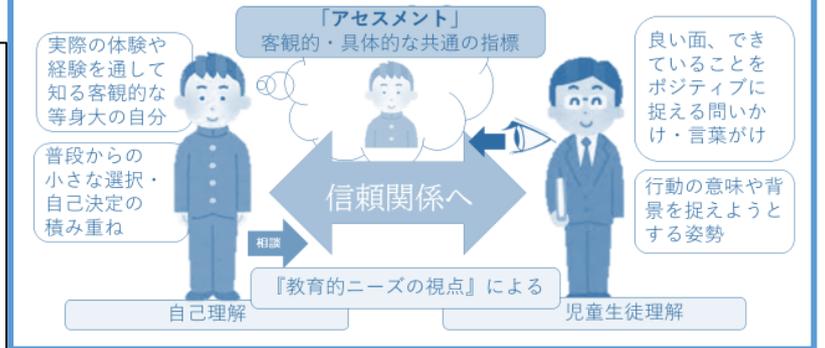
行動の意味や背景

本人中心  
家庭支援の視点

本人の生い立ち  
家庭環境  
保護者の思い  
家族支援の必要性等

本人中心  
複数の視点

共通する『教育的ニーズの視点』による  
「本人の自己理解」と「支援者の子ども理解」



本人へ 共通して伝えたいこと(言葉かけ・問いかけ)

なりたい自分を目指して

あなた(本人)はどう思う？  
【本人中心】

あなたはどくなりたい？  
【将来に向けて・目指す姿】

そうだね！それでいいんだよ！  
【本人の自信、当たり前のこと、すでにできること】

こうするとできるね！  
/できたね！どうやったらできたかおしえて？  
【支援・手立て、本人の理解・高認知化】【口という支援が必要】

個別の教育支援計画や個別の指導計画で共有し、引継ぎたいこと

「口することで、口できるようになった。」 口できるには、有効・必要な支援・指導

支援・指導の手立て → 行動の変化・成長

<本人目線>

**基本・本人**  
目線ツール  
自分をしるシート

本人目線  
ツール1  
自分をしるシート  
(相談 Q&A 用)

本人目線ツール2  
とくにこまっ  
ていること

本人目線ツール3  
自分のこどうの理由をふりかえるシート(氷山モデル)

本人目線ツール4  
自分のつよをしるシート

本人目線ツール5  
自分にひつような  
サポート確認シート  
(合理的配慮)

本人目線ツール6  
夢にむかって  
がんばることシート  
(自立活動)

「じぶんをしろう」  
子ども自身が等身大の自分を知るために

じぶんでもこまる じぶんのこと

りゆう・きっかけをふりかえろう  
そのときの じぶんのきもち

いえのようす  
かぞくのおもひ

いろいろなひとたちからのサポート

みんなといっしょにまなぶ・せいかつするため  
**なりたいじぶんをめざして**

<p><b>じぶんが</b> でき きそう な こと</p> <p>すきなこと とくいなこと</p> <p>いまでき ていること</p> <p>じぶんの つよみ</p>	<p><b>じぶんにひつようなこと</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①いやなこと にがてなこと じぶんはどんなタイプ？</li> <li>②こんな「へんきょう」 「れんしゅう」「けいけん」を するとできそう・わかりそう 『じぶんでがんばること』</li> <li>③こんな「おてつだい」 「サポート」「かんきょう」が あるとできそう・わかりそう 『まわりに てつだってもらうこと』</li> </ol>
--	--